



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年10月20日

上場会社名 株式会社エイトレッド
コード番号 3969 URL <https://www.atled.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 康広

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 新 祐介

TEL 03 - 3486 - 6312

四半期報告書提出予定日 2022年10月31日

配当支払開始予定日

2022年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,056	2.7	467	0.2	467	0.2	311	1.2
2022年3月期第2四半期	1,029	17.7	468	41.6	468	38.7	314	39.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	41.59	41.57
2022年3月期第2四半期	42.12	42.06

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	4,687	3,781	80.2	501.84
2022年3月期	4,590	3,542	76.8	471.66

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 3,757百万円 2022年3月期 3,527百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		11.00		11.00	22.00
2023年3月期		12.00			
2023年3月期(予想)				12.00	24.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,340	10.7	1,005	10.7	1,005	10.6	692	14.5	92.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	7,487,400 株	2022年3月期	7,478,400 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	185 株	2022年3月期	138 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	7,483,151 株	2022年3月期2Q	7,475,564 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3の「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 5
第2四半期累計期間	P. 5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	P. 6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中で、各種政策の効果等により持ち直していくことが期待されておりますが、地政学リスクや急激な円安進行による物価高騰、世界的な金融引締め等を背景とした海外景気の下振れ等の懸念により、先行きは依然として不透明な状況となっております。

当社が属するIT業界は、政府によるペーパーレス化や脱ハンコ等のデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進や新型コロナウイルス感染の世界的な広がりを背景として、テレワークや在宅勤務等への働き方の変化により、当社が展開するワークフロークラウドサービスの利用拡大が顕著となっていることや、ワークフローソフトウェアについても需要が拡大し堅調に推移いたしました。

このような状況の中で、当社はワークフローソフトウェアメーカーとして、Webを活用したセミナーの開催及び市場優位性を確保するためのワークフローソフトウェアの機能強化、並びに急速に拡大するクラウドサービス市場のシェア獲得に向けたクラウドビジネスの拡大に注力してまいりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は10億56百万円(前年同四半期比2.7%増)と伸長したものの、急激な円安による原価の上昇並びに今後の成長に向けた製品開発及び広告宣伝に積極的な投資を実施したこと等により営業利益は4億67百万円(同0.2%減)、経常利益は4億67百万円(同0.2%減)、四半期純利益は3億11百万円(同1.2%減)となりました。

なお、当社の事業はワークフロー事業の単一セグメントのため、製品・サービス別の業績の概要を記載しております。

(パッケージソフト)

X-p o i n tは、新規ライセンス販売の終了に伴い売上高が減少いたしました。A g i l e W o r k sは、主に半導体不足により顧客への導入が大幅に遅れたことにより概ね横ばいに推移しました。その結果、当第2四半期累計期間のX-p o i n t売上高は1億63百万円(同17.0%減)、A g i l e W o r k s売上高は4億77百万円(同0.2%増)となり、パッケージソフト全体の売上高は、6億41百万円(同4.9%減)となりました。

(クラウドサービス)

クラウドサービスは、クラウドサービス市場の成長及び新型コロナウイルスの感染拡大に伴うワークフロー需要の拡大を背景として、Webを活用したセミナー、無料トライアルの実施等により、新規導入企業数が順調に推移しました。その結果、当第2四半期累計期間のクラウドサービス売上高は、4億15百万円(同17.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産合計は46億87百万円となり、前事業年度末に比べ97百万円の増加となりました。これは、主に電子記録債権が33百万円減少したものの、現金及び預金が71百万円、ソフトウェアが51百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は9億6百万円となり、前事業年度末に比べ1億41百万円の減少となりました。これは、主に流動負債のその他に含まれる未払金が50百万円、未払法人税等が42百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は37億81百万円となり、前事業年度末に比べ2億39百万円の増加となりました。これは、主に利益剰余金が2億28百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比較して71百万円増加し、38億38百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3億24百万円(前年同四半期は4億99百万円の獲得)となりました。これは、主に法人税等の支払が1億81百万円あったものの、税引前四半期純利益が4億67百万円、減価償却費が1億4百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億72百万円(前年同四半期は1億6百万円の使用)となりました。これは、主に無形固定資産の取得による支出が1億53百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、81百万円(前年同四半期は73百万円の使用)となりました。これは、主に配当金の支払が82百万円あったこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績につきましては、2023年3月期の下期は、主に半導体不足等により大幅に導入が遅れていたAgileWorksの受注が見込めるなど、下期での巻き返しは十分可能と判断しているため、2022年4月21日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,766,976	3,838,453
売掛金	193,713	221,717
電子記録債権	54,339	21,208
その他	37,290	31,419
流動資産合計	4,052,320	4,112,799
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備 (純額)	60,298	53,937
その他 (純額)	7,100	5,482
有形固定資産合計	67,399	59,419
無形固定資産		
ソフトウェア	331,341	382,937
無形固定資産合計	331,341	382,937
投資その他の資産	139,343	132,534
固定資産合計	538,084	574,891
資産合計	4,590,404	4,687,690
負債の部		
流動負債		
買掛金	31,284	28,206
未払法人税等	194,134	151,268
契約負債	478,846	474,556
賞与引当金	46,837	27,715
その他	148,707	81,708
流動負債合計	899,809	763,455
固定負債		
退職給付引当金	61,123	54,284
役員退職慰労引当金	19,735	20,977
資産除去債務	67,508	67,616
固定負債合計	148,366	142,877
負債合計	1,048,175	906,332
純資産の部		
株主資本		
資本金	621,286	621,916
資本剰余金	621,286	621,916
利益剰余金	2,284,956	2,513,923
自己株式	△298	△397
株主資本合計	3,527,229	3,757,357
新株予約権	15,000	24,000
純資産合計	3,542,229	3,781,357
負債純資産合計	4,590,404	4,687,690

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,029,228	1,056,907
売上原価	243,265	256,358
売上総利益	785,963	800,549
販売費及び一般管理費	317,892	333,311
営業利益	468,071	467,238
営業外収益		
受取利息及び配当金	15	18
その他	101	106
営業外収益合計	116	124
経常利益	468,188	467,363
税引前四半期純利益	468,188	467,363
法人税、住民税及び事業税	150,743	139,823
法人税等調整額	2,545	16,312
法人税等合計	153,288	156,135
四半期純利益	314,899	311,228

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 2021年 4 月 1 日 至 2021年 9 月 30 日)	当第 2 四半期累計期間 (自 2022年 4 月 1 日 至 2022年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	468,188	467,363
減価償却費	88,773	104,578
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,841	△19,122
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△733	△6,838
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,726	1,242
受取利息及び受取配当金	△15	△18
株式報酬費用	6,000	9,000
売上債権の増減額 (△は増加)	95,859	5,126
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,416	△3,078
契約負債の増減額 (△は減少)	36,875	△4,289
未払金の増減額 (△は減少)	△39,621	△35,813
その他	△7,055	△11,693
小計	663,253	506,457
利息及び配当金の受取額	15	18
法人税等の支払額	△164,237	△181,581
営業活動によるキャッシュ・フロー	499,032	324,893
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△9,557
無形固定資産の取得による支出	△106,554	△153,194
会員権の取得による支出	—	△9,736
その他	△353	160
投資活動によるキャッシュ・フロー	△106,908	△172,328
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△99
ストックオプションの行使による収入	840	1,260
配当金の支払額	△74,729	△82,248
財務活動によるキャッシュ・フロー	△73,889	△81,087
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	318,234	71,477
現金及び現金同等物の期首残高	3,156,468	3,766,976
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,474,703	3,838,453

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ワークフロー事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。